

実績評価書

平成18年7月

政策体系	番号	
基本目標	4	経済・社会の変化に伴い多様な働き方が求められる労働市場において労働者の職業の安定を図ること
施策目標	1	労働力需給のミスマッチの解消を図るために需給調整機能を強化すること
	III	官民の連携により労働力需給調整機能を強化すること
担当部局・課	主管部局・課	職業安定局需給調整事業課
	関係部局・課	

1. 施策目標に関する実績の状況

実績目標1	しごと情報ネットにより求人情報等へのアクセスの円滑化を図ること (平成17年度においては、しごと情報ネットへの1日平均アクセス件数を85万件以上、参加機関数を4,500機関以上とすることにより、より多くの者に求人情報等を提供することを目指して実施した。)					
(実績目標を達成するための手段の概要)						
平成13年8月より運用を開始しているしごと情報ネットは、求職者がインターネットを利用して、官民の参加機関（民職業紹介事業者、民間求人情報提供事業者、公共職業安定所等）の有する豊富な求人情報等を一覧し、希望に合致する求人情報等を検索することを可能とするシステムであるが、これを適切に運営することにより、求人情報等へのアクセスの円滑化を図る。						
○関係する経費（平成17年度予算額）						
・しごと情報ネットの運営 793百万円						
(評価指標の考え方)						
本システムにより提供される求人情報が豊富であるほど求職者の求人情報へのアクセスの円滑化に資すると考えられることから、本システムへの参加機関数及び求人情報件数を評価指標とする。また、平成17年3月より障害者に係る求職者情報を提供しているところであるが、本情報が豊富であるほど障害者を雇用したいと考えている求人者の求職者情報へのアクセスの円滑化に資すると考えられることから、障害者に係る求職者情報件数についても評価指標とすることとする。さらに、本システムへのアクセス件数が実績目標を評価する端的な指標であると考えられることから、アクセス件数についても評価指標とする。						
(評価指標)		H13	H14	H15	H16	H17
参加機関数	(機関)	3,438	3,820	4,533	5,109	6,525
(備考)						

<ul style="list-style-type: none"> 各年度3月31日現在の数である。 平成18年度においては、参加機関数7000機関以上を目指す。 					
(評価指標)	H13	H14	H15	H16	H17
求人情報件数 (件)	471,272	504,095	634,002	810,671	923,032
(備考)					
<ul style="list-style-type: none"> 各年度3月31日現在の数である。 					
(評価指標)	H13	H14	H15	H16	H17
求職者情報件数 (障害者に係るものに限る。) (件)	—	—	—	449	2,264
(備考)					
<ul style="list-style-type: none"> 各年度3月31日現在の数である。 障害者に係る求職者情報の提供は、平成17年3月に開始した。 					
(評価指標)	H13	H14	H15	H16	H17
アクセス件数【PC版】 (万件)	20.2	34.6	43.1	45.7	45.6
アクセス件数【携帯版】 (万件)	31.2	31.6	43.4	54.0	64.0
(備考)					
<ul style="list-style-type: none"> 各年度の1日当たりの平均件数である。 平成18年度においては、1日平均アクセス件数を100万件以上とするとともに、利用者に調査を実施し、しごと情報ネットを通じて求人情報に応募するなど具体的行動を起こした割合35%以上を目指す。 					

2. 評価

(1) 現状分析

現状分析
<p>雇用失業情勢は、有効求人倍率が平成17年3月の0.85倍から平成18年3月には1.01倍に達するなど大幅な改善が見られるところであるが、完全失業率は改善したとはいえ4.1%と依然高水準にある。このため、官民の連携による労働力需給調整機能を強化し、労働力需給のミスマッチの解消を図る必要がある。</p>

(2) 評価結果

政策手段の有効性の評価
<p>しごと情報ネットの参加機関数（平成18年3月31日現在 6,525機関（対前年同期比約27.8%増））及び求人情報件数（平成18年3月31日現在 約92万件（対前年同期比約13.9%増））がともに大幅に増加し、また、しごと情報ネットへの1日当たりのアクセス件数（平成17年度 109.6万件（対前年度比約9.9%増））も増加していることから、しごと情報ネットの運営により、求人情報等へのアクセスの円滑化が有効に図られていると考えられる。</p>
政策手段の効率性の評価
<p>しごと情報ネットは、インターネットの利用により、一か所のシステム整備コスト及び運用コストをもって、全国の多数の求職者が、官民の参加機関の有する豊富な求</p>

人情報等を一覧し、希望に合致する求人情報等を検索することを可能とするものであり、求人情報等へのアクセスの円滑化を効率的に進めるものであると考えられる。

総合的な評価	
しごと情報ネットの参加機関数及び求人情報件数がともに大幅に増加し、また、しごと情報ネットへの1日当たりのアクセス件数も増加していることにかんがみると、平成17年度においては、しごと情報ネットにより求人情報等へのアクセスの円滑化が図られたと判断でき、官民の連携により労働力需給調整機能を強化するという施策目標の達成に向けて進展があったと考えられる。	
評価結果分類	分析分類
① 目標を達成した	① 分析が的確に行われている
2 達成に向けて進展があった	2 分析がおおむね的確に行われている
3 達成に向けて進展がみられない	3 分析があまり的確でない

3. 特記事項

①学識経験を有する者の知見の活用に関する事項 なし
②各種政府決定との関係及び遵守状況 なし
③総務省による行政評価・監視等の状況 なし
④国会による決議等の状況（警告決議、付帯決議等） なし
⑤会計検査院による指摘 なし